

# 連携・協働のカ・タ・チ

令和3年10月12日発行 福島県教育庁会津教育事務所



人のつながりを深めるユイマール（結が回る）  
地域社会を目指して  
喜多方市地域学校協働本部

喜多方市では、今年度から「喜多方市地域学校協働本部」を立ち上げ、統括的な地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域が相互にパートナーとして行う学校支援活動等の「地域学校協働活動」と学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」との一体的な推進を目指しています。

喜多方市地域学校協働本部の取組について、統括的な地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の武蔵信介氏にお聞きしました。



喜多方市地域学校協働本部  
統括的な地域学校協働活動推進員  
武蔵 信介 氏

過疎化や農業の機械化に伴い、協働作業の「結」等  
地域での助け合いが失われつつある現状です。

そこで、農業を通した栽培体験、キャリア教育への  
支援、ひとづくりへの支援、ピアサポートの充実、地域  
貢献活動への取組を設定し、学校を核とした地域づく  
り・学び合いを深める計画を立てました。

（下図「令和4年度取組の骨格」を御覧ください。）

この取組を通して地域内で結が回り、人と人のつな  
がりを大切にし、地域を愛して住み続ける気持ちを持  
つ子どもを育てていくことを目的としています。

令和4年度から始まる取組では、幼小中高の縦軸の  
連携を強め、人の輪とつながりを今以上に広げること  
を目指していきたいと考えています。

## 令和4年度取組の骨格



裏面を御覧ください

（地域学校協働活動をコーディネートする武蔵信介氏の取組の一端を紹介します！）

# 地域学校協働活動をコーディネートする武藏信介氏

松山小学校区における地域学校協働活動のコーディネートの様子を紹介します。

子どもたちが、春のおとずれを喜び合う地域の伝統行事「中村彼岸獅子」について学び、その特色ある獅子舞を守り続けていこうとする心情や態度を育むとともに、地域の歴史や伝統の継承と地域の活性化を目指す取組の実現に向けて話し合いを行いました。



地域と小学校の関係者を交えた話し合いをコーディネートする様子

(奥のテーブル中央が武藏氏)

〈参集対象〉

NPO 伝統芸能を継承するふくしまの会、中村彼岸獅子保存会、松山小学校、喜多方市教育委員会文化課、地域学校協働活動本部

【喜多方市役所での話し合い】

松山小学校を訪れ、校長先生と話し合いをする様子 (写真右側が武藏氏)

喜多方市では、地域学校協働活動により、次の効果を期待しています！



【松山小学校での話し合い】

## 〈地域学校協働活動により期待される効果〉



- 支援をした地域の人の生きがいにつながり、学校が活性化したりします。
- 子ども達が地域で活動し、地域の方々から感謝されることで、自己肯定感が育まれます。
- 地域でお世話になった子ども達の「感謝の思い」が、将来、様々な形で故郷に還元されると考えられます。
- 地域の人々の一生懸命な姿に肌で触れることで、地域への理解が深まり、郷土愛が育まれます。
- 地域の方々の支援によって、教員が授業や子どもとの対話に、より力を注ぐことができます。

地域学校協働活動を推進するためには、活動のプログラムを継続的・定期的実施するための計画を企画・提案し、関係者等との実施に向けた調整や、地域ボランティアの発掘など、全体のコーディネートを行うことが必要となります。

喜多方市地域学校協働本部では、武藏信介氏がその役割を担い、学校を核として、人のつながりと学びを深める地域づくりの計画を立案し、小中学校や公民館等に足を運びながら、地域と学校の橋渡し役として精力的に活動しています。

